

JICAボランティアのホルネス首相表敬

7月21日、当地で活動しているJICAボランティアは、中野大使、新井青年海外協力隊事務局審議役及び飛田当地JICA支所長とともに、首相官邸にホルネス首相を表敬訪問しました。この訪問は、日・ジャマイカ青年海外協力隊派遣取極署名30周年を記念して行われたものです。

JICAボランティア代表との会見では、ホルネス首相からの歓迎の言葉の後、同首相は25年前に日本を訪問した思い出に触れ、日本のテクノロジーの素晴らしさや日本人の規律正しさに感銘したと述べ、両国政府や国民間で築かれた重要なこの二国間関係を更に発展させたいと述べました。

中野大使からは、一行を紹介後、青年海外協力隊派遣取極指名30周年の意義について説明するとともに、これまで412名のボランティアが派遣され、現在31名が全国各地で地元の人々とともに、社会の改善や生活環境の向上のために真剣に活動していると述べました。

その後、ホルネス首相からボランティアに対し、任地と活動内容について質問があり、草の根レベルで地元の人々と協働しながら、ジャマイカの開発に貢献していることに謝意が述べられました。

ホルネス首相は会見終了後、その他のJICAボランティアが待つ部屋に赴き、ボランティア全員と記念撮影を行いました。



(左) (左から) 中野大使とホルネス首相

(右) (左から) 飛田当地JICA支所長、新井青年海外協力隊事務局審議役及びJICAボランティア代表をホルネス首相に紹介する中野大使



(左) JICA ボランティアからホルネス首相への30周年記念バッグ贈呈

(右) ホルネス首相から中野大使及び JICA ボランティアへ感謝の品の贈呈



(左) 別室にて、ホルネス首相による JICA ボランティア全体への挨拶

(右) 集合写真